

年頭のごあいさつ



占冠村長
田中 正治

村民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。ご家族そろって健やかに新年をお迎えのこと、心からお喜び申し上げます。

顧みますと、昨年は占冠村120年記念の年でしたが、3年続きで新型コロナウイルス感染症と向き合い、元の社会経済活動が思うように進められない環境でした。

そうした中、3年ぶりに開催したふるさと祭りや紅葉まつり、120年記念植樹など実施できたこともありましたが、一方で皆さんの生活、行政区活動などの地域コミュニティの維持、楽しみにしている各種活動の制限など、不自由な生活が続いた1年だったと思います。

私自身も新型コロナウイルスに感染し、隔離期間は公務を休む事態となり大変ご迷惑をおかけする一方で、ご心配もおかけしました。

村長に就任し6年目に入りましたが、村民の皆さんとお約束をした政策実現のため、一歩ずつではありますが着実に前へ進んでいると感じております。

しかし、このコロナ禍や世界情勢もあって、先が見通せない経済状況を乗り越えるためには、まだまだ多くの課題があり

ますので、新たな気持ちで村発展のため努力し、誰もが報われる社会をめざすことが、私に課せられた責務であるとの思いで頑張る覚悟であります。

引き続き、村民の皆さんの寛大なご配慮とご支援により、目標に向かって挑み安心して暮らせる村づくりを進めてまいります。そして、迎える新年が希望の持てる年になるよう期待をしております。

今年「卯年」ですが、「うさぎ」は穏やかで温厚な性格であることから、「家内安全」また、「その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。2023年の卯年はコロナからの回復の兆しが見え始め、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

占冠村においては、基幹産業である農林業や観光産業、飲食業など、あらゆる分野において、コロナ禍やウクライナ情勢、円安などの世界情勢により、社会生活が大きく影響を受けていますが、迎える新年は着実に物事を進め、将来の成功へとつなが

ればと願うところですが。

また、地球温暖化が原因とする気候変動による生活環境の悪化を防ぐため昨年宣言しました「ゼロカーボンシティ占冠宣言」の実践に向けた占冠アクションに基づき取り組みを進めてまいります。

占冠村の限らない発展のため、村民の皆さんと共に全力で村づくりに取り組みでまいりますのでご支援、ご協力をお願いいたします。

村民各位におかれましては、現状におけるさまざまな課題を乗り越え、新年が希望に満ちた素晴らしい年でありますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



占冠村議会議長
兎玉 眞澄



占冠村民の皆さん、明けましておめでとうございます。占冠村議会議長として、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

村民の皆さんにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は占冠村議会議長として温かいご支援、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の猛威は依然として続いており、まさにコロナに明け、コロナに暮れた一年間であったと感じております。この間、コロナウイルスとの戦いの最前線で活動されておられる多くの方々のご尽力ならびに村民の皆さんにも感染拡大の防止に多大のご理解とご協力をいただき、最小限の感染に留まっていたことにつきまして、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

また、自然災害におきましても、8月の記録的な豪雨は村内各地に深刻な被害をもたらし、現在も復旧に向けた工事が進められております。被災された皆さまには心からお見舞いを申し上げます。

このような中ではありますが、議会として継続しております村内中学生・後期生とのコミュニティ・スクール議会、昨年は「ゼロカーボン」を意識した廃棄物の処理について」をテーマに最終処分場の延命化、ごみの減量化を図ることを目的として開催いたしました。

各議員も生徒とともにグループワークに参加し、生徒が意見をとりまとめ、議場で取り組みを発表し、村長に答弁を頂く方法にしましたが、子どもたちの意見を聞く貴重な場でもありますので、新年度も引き続き、取り組みたいと考えております。

なお、この中学校および義務教育学校との取り組みは、マニフェスト大賞実行委員会においても高い評価を受け、昨年度の北海道エリア選抜に認定されましたことをご報告いたします。

さて、昨今における地方都市の大部分は少子・高齢化や過疎化などに歯止めがかからず、多くの厳しい課題に直面しております。さまざまな手法によりこれらの課題に対応することが求められております。村政の取り組むべき課題としては多岐にわたります。コロナ対策を筆頭に経済の活性化、雇用対策、高齢者や子育て支援、農林業の再生、医療

教育対策等に取り組んでいかなければなりませんし、防災、減災対策を一層推進していく必要があります。

こうした中、村議会は意思決定機関として、また執行機関の監視・評価機関としてその役割を十分に発揮しながら、村民の皆さんの福祉の向上および村政の発展に寄与していかなければなりません。そのためには議会の活性化は不可欠と考えております。

今年4月には、私も議員は4年の任期が満了し、村民の皆さまの審判を受ける統一地方選挙が行われますが、議員一人一人がその責務を自覚し、議員としてより一層の資質の向上に努めるとともに、議会の活性化に取り組みながら村民の皆さまの負託にご期待に応えるべく研さんを積み重ねてまいり所存であります。

どうか本年も村議会に対し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸多き、大いなる飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。